

平成 2 5 年 1 0 月

美里町教育委員会定例会会議録

平成25年10月教育委員会定例会議

日 時 平成25年10月18日（金曜日）

午後1時30分開議

場 所 美里町近代文学館 視聴覚会議室

出席委員（5名）

1番	委員	長	佐々木	勝男	君
2番	委員		成澤	明子	君
3番	委員長職務代行		三浦	昌明	君
4番	委員		佐藤	三昭	君
5番	教育長		佐々木	賢治	君

欠席委員

なし

教育委員会事務局出席者

次長兼教育総務課長	大友	義孝	君
教育総務課学校教育専門指導員	三浦	満	君
教育総務課課長補佐	寒河江	克哉	君

傍聴者 なし

議事日程

- 第1 会議録署名委員の指名
- 第2 会議録の承認
- 第3 報告事項
 - 1 行事予定等の報告
 - 2 教育長の報告

- 3 報告第43号 平成25年度生徒指導に関する報告（9月分）
- 4 報告第44号 平成24年度スポーツテストの結果について
- 5 報告第45号 指定校の変更について

第4 協議事項

- 1 平成25年度全国学力・学習状況調査結果の公表について

第5 その他

- 1 幼稚園なかよし発表会への出席者調整について
- 2 その他

本日の会議に付した事件

第1 会議録署名委員の指名

第2 会議録の承認

第3 報告事項

- 1 行事予定等の報告
- 2 教育長の報告
- 3 報告第43号 平成25年度生徒指導に関する報告（9月分）【秘密会】
- 4 報告第44号 平成24年度スポーツテストの結果について【秘密会】
- 5 報告第45号 指定校の変更について【秘密会】

第4 協議事項

- 1 平成25年度全国学力・学習状況調査結果の公表について

第5 その他

- 1 幼稚園なかよし発表会への出席者調整について
 - 2 その他
-

午後1時30分 開会

○委員長（佐々木勝男君） 皆さん、こんにちは。

ただいまから平成25年10月教育委員会定例会を始めることにいたします。

全員出席でございますので、会議は成立しております。

日程第1 会議録署名委員の指名

○委員長（佐々木勝男君） 議事日程の第1、会議録署名委員の指名ですが、本日は3番三浦委員、4番佐藤委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

日程第2 会議録の承認

○委員長（佐々木勝男君） 日程第2の会議録の承認です。前回8月の教育委員会定例会議でして、それぞれ皆さんに事前に配付されていると思いますが、現在までに会議録につきましては特に連絡はありませんでしたが、修正なしということよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

では、会議録につきましては承認ということになりましたので、よろしくお願いいたしますと思います。

日程第3 報告事項1 行事予定等の報告

○委員長（佐々木勝男君） 日程第3、報告事項ですが5つございますけれども、報告事項の3、4、5につきましては個人情報を含むため秘密会扱いということにさせていただきたいと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。

（「はい」の声あり）

では、その時点で傍聴者がありましたら、傍聴者の皆さんに秘密会の件につきましてお話しをし、傍聴を御遠慮いただくこととお話し申し上げたいと思います。

では報告事項1番目の行事予定等の報告について、報告をお願いしたいと思います。

○教育総務課長補佐（寒河江克哉君） それでは本日お渡しさせていただいております資料の美里町教育委員会行事予定表11月分を見ていただきたいと思います。すべての点は説明しませんので、重要な点のみお話しさせていただきます。

〔以下、資料に添った説明につき詳細省略〕

・11月2日 南郷図書館まつり、町民文化祭展示部門〔2、3日〕

- ・ 11月 3日 ひとめぼれマラソン
- ・ 11月 5日 美里町PTA連合会教育懇談会〔全委員の出席予定〕
- ・ 11月14日 南郷地域就学児健診、小牛田小学校NIE研究実践発表会
宮城県北部教育事務所管内教育長会議
- ・ 11月15日 平成25年美里町表彰式、就学指導審議会
- ・ 11月18日 町内校長会
- ・ 11月23日 こごた、ふどうどう幼稚園なかよし発表会
- ・ 11月24日 駅伝競走大会
- ・ 11月30日 なんごう幼稚園なかよし発表会、南郷図書館主催お話広場講演会

○委員長（佐々木勝男君） ただいま御報告いただきましたことにつきまして、何かお伺いしたいことがございましたらどうぞお願いします。なければ次に進ませていただきます。

日程第3 報告事項2 教育長の報告

○委員長（佐々木勝男君） 報告事項の2番、教育長の報告、教育長さんのほうからよろしくお願ひいたします。

○教育長（佐々木賢治君） それではプリントに沿って御報告申し上げたいと思います。

学校は第2学期が始まりまして中間期に入っております。それぞれカリキュラム、年間指導計画あるいは学校の教育活動計画に基づいて、おかげさまで順調に進んでいるところであります。きょうは午前中校長会がありましたが、いろいろ協議しまして学校の状況等について話し合いを行いました。

〔以下、資料に添った説明につき詳細省略〕

- ・ 10月 1日 大崎地区教育長連絡会（人事異動期に向けての具体的な準備、書類作成等）
学び支援コーディネーター配置事業家庭学習講演会
- ・ 10月2日 遠田郡中学校弁論大会 ・ 10月4日 遠田郡音楽祭
- ・ 10月11日 小中学校教務主任連絡会（学力向上対策委員会）
※今後の学力向上に向けて具体的な取り組み、教育力アップの調査方法の検討
- ・ 10月14日 町長杯グラウンドゴルフ大会
- ・ 10月15日 北部教育事務所学校事務指導
※16日は台風26号の通過のため学校臨時休業、事務指導延期
- ・ 10月16日 町内小中学校・幼稚園で休校・臨時休業措置

※台風26号による大きな被害はなし

・10月22日～31日 国際交流事業ウィノナ派遣〔委員長が団長〕

それから3番目ですが、全国学力・学習状況調査結果については、この間お示ししたとおりであります。その検証と分析・考察、それを踏まえての改善具体策、対策について午前中の校長会でも話題にいたしました。学校での対応では授業の見直し等々について、従来どおりにやっているところでもあります。

その①から③については9月末に各校の校長先生方と面談を実施して、10月中には個別指導、それから保護者へのお知らせ、そして次年度以降に向けての取組みをもっとやりましょうということで、確認しております。

これは後で協議のところをお願いしたいと思っておりますが、教育委員会としての取り組みですけれども、少し具体的に、前にもいろいろとお話ししてありますが、これは校長会でも案として示しました。

というのは教育委員会でまだ話をしていませんので、決定ではないということで説明してあります。まず1点目は学び支援コーディネーター等配置事業、これの拡充ということで、できる限り、もうちょっと日数もふやしていいのかなど。あるいはその地域を見て、少しウエイトの置き方、この学校区に対して少し時間をかけてみようかとか、そういったことなどを検討して進めていきたいなど。

それから2つ目は「ノー部活動の日」の設定、スポ少も合わせて。部活動とスポ少の影響は、全体的にはそれほどでないのかなとは思っていますが、「ノーテレビデー」それから「ノーゲームデー」の設定を教育委員会として取り組んでいきたいと思います。各学校に呼びかけをしたい。

この狙いは家庭学習の習慣化、保護者に啓発・呼びかけ、それが大きな狙いなのです。それで学習状況調査の結果を見ますと、家庭学習時間が県の平均よりも短いと。そして家庭で何をしているのかと調査したところ、テレビを見ている、ゲームをしている、これは前からその傾向ですが、その時間が長いと。改善が図られていないという状況なので、いろいろと情報を新聞あるいは本などで見まして、週に1回ぐらいテレビ、特にゲームのない日を設ける。ある学校では前と変わって「自分の部屋で勉強しなさい」でなくて「茶の間で勉強しなさい」と、そういうお願いをせざるを得ないという、状況です。自分の部屋でやっていると確かに部屋にはいるようですが、中身はメールとかをやっていると、それが現実だと。

「ノーテレビデー」、「ノーゲームデー」どの程度できるかわかりません。教育委員会として、

校長と連名になるかどうかわかりませんが、保護者にこれで取り組んでいきたいと思いますという呼びかけをやりながら、学校と足並みを揃えてやったらどうだろうかということで提案させていただきたいと思います。

ありがたいことにきょう校長会でこの話をしたらある校長が、私も新聞等で見ていますし、これに取り組んだことによって3年後に学力が上がっている学校も結構あるようですと。あるいは5年かかっているところもあるようですけれども。やはりテレビ、ゲームが子どもたちの学習を邪魔しているのかなど。

併せて読書の習慣、本を読む習慣。本当にテレビとかゲームをやっていると、ごろごろ寝ながらゲームをしている、本当にそういう状況です。読書週間、読書の推奨、特に小学校低学年などは親子で読書、成澤委員さんにいろいろお聞きしたいと思っているのですが、親子で本を読んで話し合うとか、親子の触れ合いにもなるのではないかと、読書というのは大変いま、求められているようであります。

あと③としまして学力向上支援員、いま、小学校に2名、中学校は数学の支援員の先生1名、の計3名ですが、限られた予算ですけれども、町長さんは学力向上にはいくらかでも予算を出すからと言っていますが、それはそれでありがたく受けとめています。けれども**配当予算**などを調整して、中学校の数学の先生をもう1名ぐらいお願いしたいなど。美里町は算数・数学が弱いのです。そういった部分なども教育委員会の事務方と相談しながら、具体的な取り組みとして考えていきたいというふうに思っております。

体力テスト結果について、きょう、三浦専門指導員から後でお話がございます。教育委員会で説明をして、そして校長会にその資料を流し、体力向上に向けてどういうふうに進めていくか、さらに校長会で協議を予定しております。

4番目に入らせていただきます。大変うれしいことですが、1つは県中体連駅伝競走大会が行われております。美里町からは遠田郡を代表して小牛田中学校が男女とも出場しております。女子は4位でした。3位なら東北大会ですが、3位と十何秒差で惜しくも負けてしまったと。やはり上位入賞していますので区間のほうも5区の齋藤さん、これは1年生ですけれども、区間優勝していると。それから1区、2区でも3位になっていると。ですから、本当に惜しかったなど。男子は19位だったですかね、たしか。そういう結果であります。

それから南郷小学校のマーチングバンド、県大会優秀賞で東北大会出場権を確保しております。11月2日にグランディ21で東北大会が予定されております。

それから3番目、美里町表彰式、先ほど日程でありましたが、教育委員会関係、3つの表彰、

受賞を予定してあります。次長と私が表彰審査員になっておりまして、いろいろ協議をして選考されるわけでありまして。

①小牛田中学校1年生の佐々木郁音さん 川に転落した人の人命救助で善行功労表彰

②北浦小学校PTA 文科大臣表彰を受賞した特別功労表彰

③不動堂小学校4年生の齋藤綾乃さん 賛辞の楯〔ポスターコンクール全国受賞〕

それから最後ですが、教育委員会部局の人事異動で南郷学校給食センターで勤務する技術主幹小原和夫が、10月1日付で教育総務課に勤務となりまして異動しております。お知らせしておきたいと思っております。

○委員長（佐々木勝男君） ただいま教育長の報告をいただきました中で、「ノーテレビデー・ノーゲームデー」については、御意見をいただくということなのですか。それとも協議ということですか。

○教育長（佐々木賢治君） 協議の中で、話題に出していただきたいと思っております。

○委員長（佐々木勝男君） 協議の項目の中ですね。

○教育長（佐々木賢治君） 協議事項の1番、平成25年度全国学力・学習状況調査結果の公表についての中で話し合っていたらいいかな。

○委員長（佐々木勝男君） それでは、教育長報告の3の（2）につきましては、協議事項の中で御意見をいただくということにしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

それでは、ただいまの教育長報告で何かお伺ひしたいことがございましたらお願ひします。

なければ次のところに移ることにいたしますが、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

日程第3 報告事項3 報告第43号 平成25年度生徒指導に関する報告（9月分）【秘密会】

4 報告第44号 平成24年度スポーツテストの結果について【秘密会】

5 報告第45号 指定校の変更について【秘密会】

○委員長（佐々木勝男君） 報告第43号から第45号は、先程申し上げた通り個人情報を含む事項ですので、秘密会扱いとなります。

〔以下、秘密会により会議録調製はなし〕

・秘密会開始 午後2時 5分

・秘密会終了 午後2時50分

○委員長（佐々木勝男君） ただいまより暫時休憩とします。再開は午後3時とします。

【休憩 午後2時50分】

【再開 午後3時 7分】

日程第4 協議事項1 平成25年度全国学力・学習状況調査結果の公表について

○委員長（佐々木勝男君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。協議事項に入ることにいたします。

議事日程第4、協議事項1、平成25年度全国学力・学習状況調査結果の公表について説明提案をお願いしたいと思います。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） 資料をごらんいただきたいと思います。10月定例会協議事項で裏表刷ったものがございます。平成25年度全国学力・学習状況調査の結果について「広報みさと」の原稿ということで提案を申し上げたいと思います。

〔以下、資料に添った説明に付き詳細省略〕

【学力状況調査】

- ・小学6年生の学力調査の結果と分析であるが、国語・算数ともに知識に関するもののほうが活用に関するものよりも正答率が高くなっている。全体的には県の平均正答率を下回っている。
- ・国語Bでは4領域すべてで県の平均正答率を下回っている。
- ・漢字を取り上げて指導するとともに、1文字1文字丁寧に書く練習を行わせていくことや、読書活動への積極的な取り組みが必要である。
- ・算数では、「数と計算」、「量と測定」、「図形」、「数量関係」の4領域で県の平均正答率を下回っている。単純な四則計算については正答率が高いが、文章問題になると正答率が低くなる傾向が見られる。
- ・中学校国語、数学ともに主として知識に関するもののほうが活用に関するものより正答率が高くなっているが、県の平均正答率を下回っている。
- ・国語Aでは「話すこと・聞くこと」については県とほぼ同等の平均正答率であるが、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の3領域については県の平均正答率を下回っている。
- ・国語Bでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域については県を若干上回

っているが、「書くこと」、「読むこと」の2領域については県の平均正答率を下回っている。話したり書いたりする能力には県レベルの水準に達しているが、「歴史的仮名遣いについて」は県の平均正答率を下回っている。

- ・ 日常の生活では使用する機会が少ない辞書の使い方や家庭での学習のやり方も含めて十分な指導が必要となる。
- ・ 数学では、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の4領域で県の平均正答率を下回っている。計算力を身につけさせるとともに、文章題の意図を酌み取る力を身につけさせていく必要がある。

【学習状況調査結果】

- ・ 早寝、早起き、朝御飯についての生活の習慣は県とほぼ同等である。
- ・ テレビやビデオ、DVD、テレビゲームの時間は県平均よりも長く、家庭での学習時間は県平均より少ない。
- ・ 小学校での今後の対応は、学力向上を図るためには学習規律の維持を徹底すること。2つ目には自分の考えを相手に伝え、相手の考えを最後まで聞くことができる指導を行うこと。3つ目には、児童のさまざまな考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行うこと。4つ目は、自分で調べたことや考えたことをわかりやすく文章に書かせる指導を行う。最後に、情報通信技術を活用し、協働学習や課題学習、課題発見・解決型の指導を行うことなどが大切になる。
- ・ 中学校での今後の対応は、学力向上を図るためには学習規律の維持を徹底すること。2番目、自分の考えを相手に伝えることができるように指導する。3つ目、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができるように指導する。4つ目、生徒のさまざまな考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行うこと。生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めること。情報通信技術を活用し、協働学習や課題発見・解決型の指導を行うこと。国語や数学の指導として補充的な学習の内容や発展的な学習内容の指導を行うこと。家庭での学習方法等を具体例で挙げながら指導することなどが大切になる。
- ・ 教育委員会での今後の対応は、調査結果を踏まえ教員の教科指導力（授業力）の向上、児童生徒の学習習慣の形成、教育環境基盤の充実に努め、各学校の実情に応じた対応を図る。

以上、ご協議よろしくお願ひ申し上げます。

○委員長（佐々木勝男君） ただいま公表について、平成25年度全国学力・学習状況調査の結果

についてをこのような公表という案を提示していただきましたけれども、全体を通してみて御質問、御意見をいただければと思います、どうぞ。

○3番委員（三浦昌明君） まず前段の表の前ですが、「美里町の全体の様子は以下のとおりです」と書いてあって表がありますよね。この美里町の全体の様子というのは、学力の調査のものだけですね。ところが学習状況調査の「児童・生徒に関する質問紙調査です」とあるのですが、これは後に出てくるのですか。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） そうですね、次のページに入っています。

○3番委員（三浦昌明君） 出てきますよね。それでこの表の1の取り扱いですが、1番目に「学力調査の結果と分析」とあるので、表をここの下に入れたほうがいいのかなど。そして中学校は中学校で、「調査の結果と分析」の下にまず表を入れて文章が始まるような感じにしたほうが流れる的に見やすいのかなというふうに感じました。どうでしょうか。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） わかりました。そのほうがわかりやすいですね。

○委員長（佐々木勝男君） いかがですか。

（「いいと思います。」との声あり）

そうすると中学校の結果の表は、その中学校の結果と分析の下に入る。

○3番委員（三浦昌明君） 表を見ながら分析を見ることができるので。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） はい。そのとおりだと思います。

○委員長（佐々木勝男君） ほかの項目、内容についてはどうでしょうか。

○教育長（佐々木賢治君） いまの件で確認させてもらいますが、前段で4行ありますね。そして次に来るのが「1、小学校6年生の学力調査の結果と分析」というタイトルで、そしてその表を載せると。小学校の結果という文言は要らないですね、必然的に。

○3番委員（三浦昌明君） ああ、表の上ね。そうですね、要らないですね。

○教育長（佐々木賢治君） そして中学校の結果表だけを大きな2番のタイトルの下に移動すると。それから、この数値の単位、説明は。62.7とは何か、通過率ですか。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） 正答率です。

○教育長（佐々木賢治君） 正答率、パーセントですね。「問題に対する正答率です」とどこかで説明が必要ではないでしょうか。

それから自分も全部チェックしたつもりなのですが、小学校6年生の学力調査の結果と分析というタイトルがあって、次に国語、算数ともに知識に関するものとなっていますが、「知識に関するもの」、そこをかぎ括弧で閉じたほうがいいのかなど、これは項目ですね。次も活用の前

にかぎ括弧、「活用に関するもの」のほうがよいのでは。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） そうすると、これは「主として」が入ります。「主として」というのが抜けていました。

○3番委員（三浦昌明君） でも最初の4行には入っていませんよ。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） ですからそちらも入れたほうがいいと思います、「主として」という文言を。

○委員長（佐々木勝男君） 一番上にも関係するのかな。4行分のところの知識に関するものというの、括弧書きにしているので、かぎ括弧にするとか。統一したほうがいいかなと。

○2番委員（成澤明子君） でも上の場合は国語Aに対しての説明という感じがするので、かぎ括弧のほうが自然に思います。

○4番委員（佐藤三昭君） これはかぎ括弧でいいのでないでしょうかね。説明のほうが項目になってかぎ括弧にしたほうが。国語Aと言っているところの説明だから括弧でいいのでないですか。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） ここに「主として」と入れます。「主として知識に関するもの」、Bは「主として活用に関するもの」。

かぎ括弧は小学校と中学校に入りますね。小学校には「主として」と入りますね。あと一番上にも「主として」と入りますね。

○教育長（佐々木賢治君） 行数が増えないですか。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） 大丈夫です、2行減りました。

○委員長（佐々木勝男君） あとほかにございますか。どうぞ。

○2番委員（成澤明子君） 質問ですが、小学校国語のところの「伝統的な言語文化」、それから中学校国語のところにも「伝統的な言語文化」、あるいは下から3行目、4行目のところに「歴史的仮名遣いについては正答率が下回っている」というのですけれども、例えばどんな言葉が苦手だったのでしょうか。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） 古文ができないということです、歴史的仮名遣いということ。中学校の歴史的仮名遣いというのは古文です。小学校についての伝統的な文化というのは俳句とか、短歌とか、そういうものです。そういうものがよく理解できていないということです。

○委員長（佐々木勝男君） 細かく括弧書きで説明しないと判らない。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） いま成澤委員さんがおっしゃった部分は、これはわ

かっている人に出すのではないのです、町民に出すのです。だから、例えば今言ったようなこと、はすごく大事なことで、伝統的な言語文化というのは例えばこういうことですよと注釈を入れてくれたほうが保護者もわかるのです。だから入れるスペースは、広報ですと右枠とか左枠とか下の枠も使えるのですね。その部分に米印を入れてやるとか、そういったことは必要かと思えます。入れられると思えますので。

あともう1つは、前もって見せていただいておりますが、そのときに勘違いするのは学力学習状況調査として、一区切りで最初タイトルを見てしまいます。中身が学力状況調査と学習状況調査と2つあるのですね。その部分を前段の4行で書いて説明としています。2行目のところに「調査内容は」とありますけれども、前段のほうの学力状況調査は国語Aとか云々ですよ。そして3行目の学習状況調査は「学校や児童生徒に関する質問紙調査です」になるのですよね。

ですから、そういうふうに分けて示したほうがいいのかと思います。それからもう1点言いますと、小学校と中学校でこの表の分析の前に結果を示しているわけです。そうすると学力状況調査の結果としてはこれですよと、そしてその分析はこうですよと、いうふうな形にすると思えます。

最後に、次のページになってくると学習状況調査の結果を示しています。それで小学校の部と中学校の部の表現が同じですよ。同じだとするならば、1段で包括できますよね、それぞれ分けなくても。今後の対応も同様です。一番下で「各小中学校で実態に応じて取り組んでまいります」とまとめる。最後の締めくくりとして教育委員会はどうなのということで、2行で締めているわけですよ。そのようなストーリーを描いた形の組み立てという部分があってもいいのではないかと。

それから1つ気になったのが、教育委員会として「調査結果を詳細に分析し」とこう書きますと、その分析の内容が大変気になるのですよね、見た人は。ここの部分の示し方、詳細に分析するのは当然のことだと思うのですけれども、後から示すということになってくると思うのですけれども、行動に移すということがあってもよるしいのかなと。

教育長も悩みながらつくっていたのを見ていたのですけれどもね。そういった部分があってもよるしいのかなというふうにはちょっと感じましたので、話しました。

○3番委員（三浦昌明君） 今のお話の内容を私も言いたいと思ったことなのです。今後の対応のところでは小学校と中学校が同じ内容ですけれども、最後に中学校だけ家庭での学習内容に触れているのですよね。なぜ小学校に入れなかったのか。入れるのであれば、小学校・中学校を

まとめて良いと思ったのですね。そうすると、さっきも出ましたけれども、最後に「小中学校で」ということでそれぞれ対応すればいいという考え方もできるであろうと私も思いました。

○委員長（佐々木勝男君） 対応の件で共通しているところがあるということですね。その表現の仕方をどうするかと。

○3番委員（三浦昌明君） いや、それだけでなく、なぜこの家庭学習のところを中学校だけで述べて小学校で述べないのかということですよ。小学校に入ってもいいのではないかと考えているのですね。だとすれば、一つにまとめていいのではないかと。

○委員長（佐々木勝男君） 学習状況調査の結果を受ければやはり当然必要になってくるだろうというような意味合いにとれますね。

私も先ほどの提案、説明を聞いて、共通している部分は同じようにして、小中学校をくくったほうがいいのかというふうなイメージを持っています。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） 最大公約数でまとめます。学校と教育委員会に分けて、最大公約数でまとめて整理すると少し縮まります。そうすると注釈も入ります。

○委員長（佐々木勝男君） 先ほど次長から教育委員会としては、「調査結果を詳細に分析し」という表現は、若干変わるということでしょうか。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） この分析はもう立派に考え抜かれて分析されているのですよね、これを見ただけでも。先日、町長・副町長とのオータムレビューという会議がありました。それから今年の施政方針でも平成24年度の学力状況調査の結果を分析して取り組んでいますと。それをどういうふうにするのかと言うと、もう去年の広報で示しているわけですよ、分析も。それをさらに追及されると、先ほどの教育長が最初にお話しいただいたその月曜日の「ノー部活動」とか「ノースポ少活動」を教育委員会としてはこういうふうを考えているのだよということにつながっていくと思うのです。

○3番委員（三浦昌明君） これ「調査結果を踏まえ」でいいですよ。

○2番委員（成澤明子君） 「本年の調査結果の分析をもとに」ですね。

○教育長（佐々木賢治君） 「調査結果を受けて」と直すか。

○委員長（佐々木勝男君） 分析はもうここまで進んでいるのですね。

○教育長（佐々木賢治君） 「踏まえて」のほうがいいかもしれないね。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） ちょっと私もわからないのですけれども、こうやって教育長とか三浦専門指導員が分析をされて、さらに学校ではもっと細かく分析するというのは、個々の分析ですよ。

- 学校教育専門指導員（三浦 満君）　そうです。これは大きな分析であります。そして学校ごとにまた違いますので、美里町の結果からこういうことを言えるのですね。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君）　ということは、ここは教育委員会としての調査結果の分析だから、余り底辺のほうまでいくと書き切れなくなってくると思うし、示しきれなくなってくると感じています。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君）　ですから一般的な表現になってきています。
- 3番委員（三浦昌明君）　そうですね、いま次長が話したように、学力調査と学習状況調査の2つに分ければいいですね。3番が学習状況調査になっているでないですか。その前が、小学校と中学校とこれ一つまとめにして、「学力調査」というタイトルをつければいいのですよね。その項目を1つずつ落としていけばいいのですよね、小学校と中学校にね。そうすればもっとわかりやすいですね。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君）　大きく4つの括りだと思うのですね。
- 3番委員（三浦昌明君）　そういうことですね。そうしていくとやはりタイトルも「学力調査」、「学習状況調査」と2つに分けて入れた方がわかりやすいかな。
- 4番委員（佐藤三昭君）　今のところでいいと思います。3番目になっている学習状況調査、今、三浦委員がおっしゃったのだけれども、ここが2番とかになってくるのですよね。
この調査は「学校や児童生徒に関する質問紙調査」であるということが、わかったほうがいいですね、これ。結局前段で全部出してしまうと、違う読み方をしてしまうというのもありますね。それが学習状況調査の結果であるということがわかったほうがいいのでは。
- 3番委員（三浦昌明君）　最初の4行に「学校や児童生徒に関する質問紙調査」と入れているから、学習状況調査のタイトルを入れておかないと。
- 4番委員（佐藤三昭君）　これを入れておけばいいのですよね。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君）　括弧して質問紙調査。
- 4番委員（佐藤三昭君）　何か括弧でも、入れてあげればいい。「学習状況調査」、例えば「学校児童編」とかというふうに。
- 委員長（佐々木勝男君）　学校や児童・生徒に関する質問紙調査というのは学習状況調査のことなのだとわかるように。
- 4番委員（佐藤三昭君）　そのほうがわかりやすいですね、見たときに。
- 3番委員（三浦昌明君）　初めて見る人は混乱するかもしれないね。我々は何回も聞いているからわかりますけど。

- 委員長（佐々木勝男君） 前の部分も学力調査の内容は国語A・B、算数・数学A・Bというような表現・中身なのだということも示すといいと思いますね。そうすると、それを受けて次が学力調査の結果で小学校・中学校となるし、その次では学習状況調査の結果もそれが出てくるとのことです。
- 3番委員（三浦昌明君） その2つの調査がどういうものか、前段の4行で書いているけれども、箇条書きにしてはどうなのか。例えば学力調査の部分は国語A・B、算数A・B、これを4つに箇条書きに、1行ずつ書くとわかりやすくなるのではないかなど。学力調査内容は4つあるわけでしょう。それが文章で書かれると見づらいですよ。それとは別に、その学校や児童生徒に対する質問紙調査がありますよという形で、こここのところでスペースを少し余計にとってあげてわかりやすいようにしてあげないと。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 三浦委員が言っていることは私もちょっと気になっていたのだけれども、そうすると3領域だとか4領域のことを入れられるのですよ、領域が。ここに、小学校国語で3領域と書いていますよね。「書くこと」と「読むこと」と「伝統的云々」というのがありますよね。算数でも箇条書きにするとそれをあらわすことができるのです。
- 3番委員（三浦昌明君） 少しスペースをとってどういう調査だったのかということを示していないと、何回も読めばわかるかもしれないけれども、初めて見る人は何かわけがわからないとなるかもしれない。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） たった2ページで説明するというのは難しいです。三浦専門員につくっていただいた前回の教育委員会の定例会に示された内容を本当は全部出したいところなのですけれどもね、本当は。それを2ページにまとめる訳だから。
- 2番委員（成澤明子君） 今後の対応のところでは学校と、それからもう1つは教育委員会ではという2つの項目になりそうなのですけれども、教育委員会としては教育長報告でもあった全国学力調査結果の分析と考察を踏まえて、改善対策ということで取り組みが3つ挙げられているのですが、これを載せることはできないのですか、具体的に。「ノ一部活動」とか「ノースポ少活動」といったことはやはり学校と話し合わないことには、共通理解不足だと思います。教育長報告の「学び支援の拡充」ということと「学力向上支援員の拡充」というのは、これはイコールととっていいのでしょうか。
- 教育長（佐々木賢治君） この広報にはにそこまで書けません。今言ったことはすべて教育環境基盤の充実、そこにみんな含まれるのです。学力向上支援員とか教員補助員は。あとは保護者への啓発、それも環境ですよ。だからその3つありますが、1番目は「教員の教科指導力

の向上」、これは学校でとにかく頑張ってくれと、教育委員会としては毎回呼びかけをしていくと。2つ目の「児童生徒の学習習慣の形成」は学校でも呼びかける、教育委員会でも呼びかける。3つ目「教育環境基盤の充実」は、ほとんど教育委員会でやらなくてはならないこと。そういうことを言いたいのです。ただ具体的に「ノーテレビデー」とかは保護者あてに呼びかける。読書も大変大事なのです。

○2番委員（成澤明子君） 非常に理解を得にくいですね。抽象的にしかこの場では述べられないと思うのですけれども。じゃあ一体何をしてくれるのというような気持ちを保護者は持つでしょうね。

○教育長（佐々木賢治君） これは保護者というより町民です。

○3番委員（三浦昌明君） 広報紙だから、やはりこれくらいにしておいたほうがいいと。例えば座談会、懇談会とかそういう中で話が出てくれば出るでしょうが。

○教育長（佐々木賢治君） 例えば体力づくりだと学校では行間時間をつかって全校で何分走をやりますとか長縄跳びをやりますとかいろいろ具体的にやっています。そういうのは学校だよなどで保護者あてには出しています。それをこの広報で教育委員会として載せると大変なスペースにもなる。成澤委員が言われるように何のことだと、思われる部分かもしれません。最後のほうは行政らしい書き方ですが。

○3番委員（三浦昌明君） 今後の対応の中学校の下から3番目「補充的な学習の内容」とありますが、ここの頭に「国語や数学の指導として」とあるのだけれども、これは別に国語・数学にかかわらないと思います。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） この調査は国語と数学しかわかりませんよね。ほかのものはわかりません。全体的な問題だということですね。

○3番委員（三浦昌明君） たぶんそういう意味で書いたのだと思うけれども、国語と数学しか出ていないわけだから入れなくてもいいだろうし、内容的にも限定しなくてもいいのでないかなと思ったのです。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） はい、わかりました。

○委員長（佐々木勝男君） ほかによろしいですか。今の件はよろしいですか。

○教育長（佐々木賢治君） いまの部分は私もなくてもいいと思いました。

それでは委員長、ちょっと1回復習をお願いしたいのですが、整理です。私なりに一応メモはしているのですが、どうしますか、三浦専門員のほうで確認してもらえますか。こういうふうに直すと。

○委員長（佐々木勝男君） はい、どうぞ。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） 最初に出ましたのは、「知識」、「活用」と書いたものの前に「主として」ということを全部で6カ所ぐらいありましたね、それを入れると。あとはその部分は、頭の部分以外のところはかぎ括弧でくくると。それは4カ所ございましたね。知識が2カ所、活用が2カ所ということです。

○教育長（佐々木賢治君） 済みません、最初からレイアウトも含めて。

○委員長（佐々木勝男君） 全体のレイアウトを通してお話しください。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） はい。小学校の結果については小学6年生の学力調査の結果と分析の下に入れる。

○教育長（佐々木賢治君） その前に4行で挿入ありましたね。「主として」以外に。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） あったのは学力部分と学習部分に分けるという話がございました。ですから書き方にすると、①学力調査については云々。②学習状況調査については学校や児童・生徒に関する質問紙調査であると入れたほうがわかりやすいということですね。

○教育長（佐々木賢治君） ちょっと上の部分を読みます。平成25年4月に小学校6年生と云々、そして2行目に調査内容は国語A（主として知識に関するもの）、国語B（主として活用に関するもの）、算数（数学）A（主として知識に関するもの）、算数（数学）B（主として活用に関するもの）と。

そこに「学校や児童生徒に関する質問紙調査です」といくまえに、そこに何か入らなかったですかね。

（「学習状況調査」の声あり）

ちょっと待ってくださいね。「学習状況調査については学校や児童生徒に関する質問紙調査です」と、そういう文言が入るのだったのでしょうか。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） ただ、そういうふうに並べるとわかりづらいので、さっき言ったように①、②と分けてやったほうがわかりやすいということですよ。ですから、調査内容は次のとおりですと、学力調査については国語A云々、次に学習状況調査については学校や児童生徒に関する質問紙調査というような形で書いたほうがわかりやすいということですね。

○教育長（佐々木賢治君） 前段でね。

○3番委員（三浦昌明君） そして、例えば国語Aの中には領域として3つあるとか、そういうのを入れてあげれば、いいのでは。

- 学校教育専門指導員（三浦 満君） ああ、ここに領域を入れるのですね。
- 3番委員（三浦昌明君） 下の分析を読むときにわかりやすいのですよね。例えば表みたいなレイアウトを考えていただいて、表でそれぞれの調査内容に対して右側に領域として何個ありますよというふうに入れられるようにすればわかりやすいのかなと。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君） そうすると今度は領域の説明もですね、注釈として。注釈を入れておかないとわからないという話をしていますよね。
- 3番委員（三浦昌明君） それは別段で注釈にしてもいいのでないか。最後に、例えば米印をつけておいてページの最後に注釈のような形で入れておけば。
- 4番委員（佐藤三昭君） 前段に調査の科目とですか、何を調査しているのかというのを最初に入れたほうが読みやすいのでないかと思います。
- 教育長（佐々木賢治君） はい、わかりました。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君） よろしいですか。それで、先ほど小学校云々言いましたけれども、これを一くりにするのですかね、学力調査の結果ということで。そしてそれを1として、2については学習状況調査の結果、3この対応という大きな区切りになる。
- で、学力調査の結果ということで小さい項目で小学校、中学校と分けるのですよね。そのほうがいいですよね。そうすると、例えば国語については①になりますかね、分けていくと。そういうような形にしていくということになっていく。
- 3番委員（三浦昌明君） そうなってくると小学校は要らないですよね。「小学校国語」と入っているけれども。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君） そうですね。中学校も要りませんね。
- 委員長（佐々木勝男君） それで行数も減りますね。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 今のお話は学力状況調査の結果ということで1つですね。これが1つですよ。その中で小学校と中学校に分かれますよということですよ。結果をここでいいますと小学校6年生の分、今こう書いてある部分で言いますね。小学校6年生の学力調査の結果と分析と書いていますよね。これが小学校の結果になるわけですよ。（1）、（2）は分析ですよ。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君） なるほど、そうすると結果と分析、小学校の結果、小学校の分析という形になる。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 結果はこの2行と表、そして分析は国語と算数ではっきりと分ける。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） 結果、そして（２）が分析だね。順番でいくと（３）が中学校の結果、（４）が中学校の分析となる。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 私の思っていたイメージは、学力状況調査で１つなのです。頭のタイトル１つ。その次に分けるとするならば結果と分析。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） 結果と分析。そうすると（１）が結果と分析。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 結果と分析。ですから、その結果が２段に出てくるということですね、小学校と中学校。そして分析もその下に２段に出てくるというイメージなのですが。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） そうするとこの大括弧は学力調査。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） レイアウトイメージを後ほど、三浦専門指導員と協議します。

○委員長（佐々木勝男君） レイアウトの検討をお願いします。

○３番委員（三浦昌明君） 大切ですね、見やすさ、レイアウトっていうのは。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） それで、学習状況調査を括弧して質問紙調査と入れるのです。そして最後に今後の対応と。そして（１）は学校では、（２）は教育委員会としてということで、必要になります。そして「学習向上を図るためには」ということで、最大公約数でまとめてそして「以上のことなどが大切になってきますので、これらのことについて各小中学校でそれぞれの実態に応じて取り組んでまいります」となります。

そして、（２）の教育委員会としてというところでは、「今回の調査結果を踏まえて」となりあとは同じになる。

○委員長（佐々木勝男君） お話ししていただいた内容で文章がまとめられるということになると思いますが。ほかに補足することがございましたらお願いいたします。よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○３番委員（三浦昌明君） 表の説明は正答率ですよ。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） 数字は正答率をあらわしますというのを入れます。

○３番委員（三浦昌明君） 上の部分、この空欄のところに「数値は正答率です」と入れればそれでわかるのでないですかね。

○２番委員（成澤明子君） 正答率だけでもわかるかもしれない。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） 数値は正答率をあらわしていますというような表現で、入れます。

- 2番委員（成澤明子君） 右に書いてもいい。右が十分空いていますので。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君） 何とかします、はい。
- 委員長（佐々木勝男君） この文字の大きさになるのですか、広報紙は。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君） 多分この文字の大きさだと思います。これが10.5ポイントの明朝体ですね。
- 委員長（佐々木勝男君） ただ表は、この文字でやると小さくなる。この表は2段になっているけれども、横並びにもできるのですか。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君） いいえ、横並びになってしまうと、小中学校別ですわかりにくくなります。
- 教育長（佐々木賢治君） 委員長、これで大分詰まると思いますよ。
- 委員長（佐々木勝男君） 詰まりますね。
- 教育長（佐々木賢治君） 済みません、私、聞き逃したかもしれませんが。
- 委員長（佐々木勝男君） どうぞ。
- 教育長（佐々木賢治君） もう1つ整理したいのは、学習状況調査の結果ですね。これは小中別、一本化できなかったのか。というのは、小学校・中学校が今、別々になっていますが、上の4行は全く同じ文章なのです。県平均より「テレビ、ゲームが長い」、「家庭学習が少ない」と全く同じなのです。中学校の下の4行、また、「家の手伝い」云々というのはこれ中学校ですよ。ですから、小中一緒に、小学校・中学校をとって、「また、中学校では」と入れれば良いのでは。
- 3番委員（三浦昌明君） そうですよ。それで済みます。
- 委員長（佐々木勝男君） ダブっているところは組み合わせると。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君） そうすると小学校の上の4行で済ませる。
- 教育長（佐々木賢治君） 「また、中学校で」と4文字入りますけれども。テレビを見る時間は県平均よりも長くなっています。「反面」という言葉を入れるとする。「反面、家庭での学習時間は県平均より少なくなっています」と。
- 委員長（佐々木勝男君） ここでまたぐっと半分になりますね、。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君） 「反面」という言葉は余り使いたくないですけども。
- 教育長（佐々木賢治君） 娯楽の時間は多いのだけれども、反面、勉強はさっぱりしていないよと、そういう意味ですね。
- 学校教育専門指導員（三浦 満君） 「しかし」ではだめですか。ただ、上にも「しかし」と

ありますね

○委員長（佐々木勝男君） いいですか。お話しいただいたことをもとにして、文章化はまだ時間がかかると思いますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○教育長（佐々木賢治君） ありがとうございます。

○学校教育専門指導員（三浦 満君） たたき台をつくって、事務局と教育長に御指導いただき、修正をかけたいと思ひます。

○委員長（佐々木勝男君） それで先ほど教育長報告の中で3の教育委員会の取り組み案ということで具体的なところをお話しいただきましたけれども、今後これらを教育委員会としては具体的にその校長会等の中で進めていくというようなことでお話しいただいたのですが、この件についての何か御意見がありましたら、お願ひします。

併せてあとこれからの取り組みということで共通理解を図っていきたくと思ひます。

○3番委員（三浦昌明君） 教育長報告の中の②「ノー部活デー」「ノースポ少活動」「ノーテレビデー・ノーゲームデー」部分のことですかね。

○委員長（佐々木勝男君） 教育長報告の3の（2）。①「学び支援の拡充」③「学力向上支援員の拡充」もあろうかと思ひますが。

○教育長（佐々木賢治君） 一番大きいのは②です。

○3番委員（三浦昌明君） ②ですよ。①、③はもうこれはもろ手を上げて、何の反論の理由もありません。

○委員長（佐々木勝男君） 特に具体的な言葉としては②の「ノー部活動デー」、「ノースポ少活動」、「ノーテレビデー、ノーゲームデー」の設定という具体的なところが出ています。

○4番委員（佐藤三昭君） 基本的には賛成ですね。特にノーテレビとノーゲームデーを月曜日とするのは、全く家庭との協力ですぐ実行できることだと思ひますので。学習習慣をつけるという意味では非常にいいと思ひます。あと「ノー部活、ノースポ少」に関しては少し協議が必要なところもあるのでしょうかけれども、大会があるとかいろいろなことがあったり、そのために生徒も伸びる、児童も伸びるということもあるのでしょうかから、そうしなさいという強い言い方というよりは、そのような設定で方向的には家庭学習の定着化に向けて行きたいのだがというようなニュアンスなのかなというふうには思ひていました。

○3番委員（三浦昌明君） 私も基本的にこれは大賛成です。ノーテレビ、ノーゲームって定着すれば、これ意外と、子どものためなのですが、親のためにもなるのでないかというふうにおもひます。今、親もスマホでゲーム三昧という人が結構いるみたいなのですよ。それでじい

さんやばあさんがテレビをずっと一日中かけっぱなしであるとか。そういうのも子どものせいにして、家の中の環境を変えられる要素があるのでないかと思って、非常にいいことだというふうに思いました。

あと、「ノー部活、ノースポ少」全面的とかそういうのではかえってだめだと思うのですね。非常に有効な子どもたちのための活動だと思うので。ただ、前にちょっと聞いたところによると一部スポ少、毎日というスポ少があるやに聞きましたけれども、余りにも毎日では子どものためにもよろしくないのかなど。週に1回くらい休みがあってもいいのでないかとか、そんなふうに思っていたので、その辺は状況を調べながらどういうふうな形で持っていったほうがいいのか学校との協議も必要だと思うし、これにちょっと時間をかけて考えてみたほうがいいのかなと思いました。

○教育長（佐々木賢治君） あくまでも案の案としてお示ししたものであります。部活動は中学校に限るし、その辺は学校の内部となる。あるいはスポ少活動については社会体育のほうに協力をお願いするとか、そのような形では可能だと思うのです。あくまでも案として、例えば考えられることかなということでお示ししたことでありまして、ぜひここでお認めいただきたい、深く協議していただきたいという意味ではありませんので、ご理解よろしくをお願いします。

それが1点と、ノーテレビ、ノーゲーム、これは月曜日、曜日の設定ですね。やるからには毎週のほうが。やはり月1回とか月2回だと忘れられてしまうので、まず呼びかけですので啓発ということで、毎週月曜日でどうか1点と、それから読書週間という読書というのをどこかに入れたい。これは学力向上にももちろん結びつくのですが、もっと大きな意味がありますので、その辺はこちらに任せていただいてよろしいでしょうか。

○2番委員（成澤明子君） やはり三浦委員さんもお話ししたように子どもたちは音の中にずっと一日中浸っている。ふと我に返って寂しいであるとか怖いであるとか考える時間がない。だからおうちでも、うちによっては宿題しなさいと言って親がテレビを見る。笑ったりとかすると何で勉強しないの、計算がわからないのとか、言われた子どもはとても大変。子どもの立場になったら親もテレビを消してって言いたいような状況。でも、書きながらちらちらと見るものだから、それもいいかなという、そういう育ち方をしている子を割と目にするというか、聞いたりします。やはりこういったことは意識を持たせるという意味で、私も賛成です。

○教育長（佐々木賢治君） ありがとうございます。あと済みません、読書について、やはりこれと併せていい機会なので読書の推奨もアピールしたいなど。特にきょう校長会でお話ししたのは小学校低学年、1年から3年ぐらいまで、テレビも見ない、ゲームもしないで勉強をやれ

といっても難しいですよ。そういった小学校低学年については親子で本を読むとか、そういったいわゆる読書の習慣を小さいうちから、親も含めてどうなのかなということもきょうの校長会で話をさせていただきました。その辺なども事務局でちょっと検討して進めさせていただきたいと思います。

(「よろしくをお願いします」の声あり)

○委員長(佐々木勝男君) 読書習慣も加味してということになりますね。

○教育長(佐々木賢治君) 家庭での読書ですね。学校ではやっているようです。

○委員長(佐々木勝男君) では、ただいまの教育委員会としての取り組み案につきましてはよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは、協議事項は以上で終了とします。

日程第5 その他1 幼稚園なかよし発表会への出席者調整について

○委員長(佐々木勝男君) それでは議事日程の第5、その他、1. 幼稚園なかよし発表会への出席者調整について御提案をお願いしたいと思います。

○教育総務課長補佐(寒河江克哉君) それではきょうお配りした資料でございます。その他の資料を見ていただきたいと思います。

報告事項の行事予定等の報告で申し上げましたが、11月23日にこごた幼稚園、ふどうどう幼稚園の発表会が行われます。11月30日の土曜日にはなんごう幼稚園で行われる予定でございます。開演時間・集合時間につきましては各幼稚園に問い合わせしましたが、まだ正式な案内状は届いておりません。出席委員の案につきましては委員長、教育長、成澤委員の3名を案として出させていただきましたが、御協議よろしくをお願いしたいと思います。

○委員長(佐々木勝男君) 出席者調整についての案を示していただきました。各委員の皆さん、いかがですか。

○2番委員(成澤明子君) いいです。

○委員長(佐々木勝男君) よろしいですか。

(「はい、お願いします」の声あり)

調整についての案はいま御了解いただきましたので、よろしくをお願いしたいと思います。

日程第5 その他2 その他・次回の日程調整

- 委員長（佐々木勝男君） 日程第5、その他の2、その他、何か提案する事項はございますか。
- 教育総務課長補佐（寒河江克哉君） 特にはありません。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 特にはないのですが、平成26年度の予算編成に向けて今、検討しておりますので、次回あたりには案をお示ししたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
- 委員長（佐々木勝男君） 次回については、予算に関することがありますね。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 細かい部分ではなくて、概略です。
- 委員長（佐々木勝男君） それでは次回の教育委員会定例会、11月ということになりますが、11月の行事予定表をもとにして、月末、下旬のほうでは人事ブロック会議がもう28日から、ということは27日から準備が始まるということなのですね。ですから27日は、会議の準備があるから27日は無理だろうと思います。やるとすれば25日、26日、あるいはその前だと20日、21日かと。
- 3番委員（三浦昌明君） 25日以外であれば。
- 委員長（佐々木勝男君） ぎりぎりです。
- 4番委員（佐藤三昭君） 26日空いています。
- 2番委員（成澤明子君） はい、いいです。
- 委員長（佐々木勝男君） 26日、よろしいですか。それでは11月26日火曜日1時半、南郷庁舎となります。以上で平成25年10月教育委員会定例会議を終了することにいたします。ありがとうございました。

午後 4時26分 閉会

上記会議の経過は、事務局教育総務課 寒河江克哉の調製したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名いたします。

平成25年12月24日

委員長

署名委員

署名委員